

校長室だより(9月号) 「季節を感じて ～金木犀の香り～」

朝夕随分涼しくなりました。空や周辺の景色から、季節が「秋」に変わっていることを感じます。校門に入って正面玄関のあたりを歩いていると、金木犀の香りがします。いい香りに嬉しくなりました。また、空を見上げれば、天高く澄み渡る秋晴れだったり、翳雲(いわし雲)が浮かんでいたり、秋の気配を感じるようになりました。秋の始まりを感じるのは今です。金木犀が香る期間は長くはありません。ぜひ、五感を使って感じてみてください。

さて、いよいよ前期が終了します。本年度より2学期制になり、初めての前期終業式を10月3日(月)に迎えます。この半年間、生徒の皆さんにとってどのような時間だったでしょうか。嬉しいこと楽しいこと、辛かったこと、悲しかったこと、幸せを実感したことなど、いろいろなことがあったと思います。大切なことは、学習においても、生活においても、自分の考えにおいても、振り返り、そして、これからに向けて少しでもより良い方向に向くよう取り組んでいくことです。それは目標設定に繋がります。嬉しかったこと、幸せだと感じたことを思い出してみましよう。これから行動するための力になると思います。

先生方に聞いた嬉しかったこと、幸せに感じたことを紹介します。

・「3年生が、進路決定の試験を前に、顔つき、行動が大人になったことを嬉しく感じた。」

3年生の皆さんにとって、卒業後に向けて大切な時期です。皆さんの表情や行動をいつも見守ってくださっている先生たちだからこそその言葉です。私も嬉しいです。これからも自分を信じて、平常心で頑張っていきましょう。

・「バレーボールの試合中、先輩のふれたバレーボールが後輩のほうに飛んでいき当たってしまった。そのとき、「ごめんね。大丈夫？」と自然に近づいてきて声をかけている姿を見て、嬉しく温かくなった。」

・「スポーツフェスティバルで、体育館に来ているみんながそれぞれに動き、声を出している、その場の生徒、先生たちの様子、風景を見ながら幸せだと感じた。」

9月開催のスポーツフェスティバルで「竜胆の陣」のことです。きっと、生徒の皆さんが、時間やルールを守って行動し、楽しそうに競技に取り組み、周りに気を配るやさしさに溢れていたからだと思います。

嬉しい話や幸せに感じた話は、自分のことでなくても心が温かくなります。「幸せ」について、「人によって感じるものが異なり、幸せと思う基準はそれぞれです。他人が「幸せ」について決めるものではなく、自分自身が感じることで、思うことで、まわりに左右されるものではありません。嬉しいと思い、幸せを感じるが増えれば素敵だなと思います。他人の幸せを妬んだりするのではなく、友達や周りの人の幸せを喜べる人になってほしいと思います。

最後になりましたが、本校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。少しでも、本校の教育内容や学校の様子など、生徒たちの輝く姿が伝われば幸いです。



【金木犀】

玄関から出ると
金木犀の良い香りが
します。



【ある日の秋の空】

少しずつ秋の気配
がしています。